

近畿厚生局長 殿

開設者名

公立大学法人奈良県立医科
理事長 吉岡

印

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	76人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

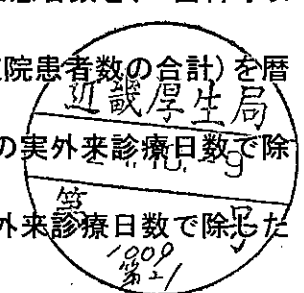
職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	468人	15.0人	483.0人	看護補助者	88人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	28人	0.0人	28.0人	理学療法士	13人	臨床検査技師	72人
薬剤師	53人	4.6人	57.6人	作業療法士	6人	臨床衛生検査技師	2人
保健師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	42人	1.6人	43.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	1人
看護師	839人	26.6人	865.6人	臨床工学技士	31人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	6人	2.6人	8.6人	栄 養 士	0人	その他の技術員	23人
歯科衛生士	2人	0.0人	2.0人	歯科技工士	3人	事務職員	231人
管理栄養士	9人	0.0人	9.0人	診療放射線技師	51人	その他の職員	0人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	741.5人	16.4人	757.9人
1日当たり平均外来患者数	2,010.0人	107.0人	2,117.0人
1日当たり平均調剤数			3,855.10剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	26人
骨髄細胞移植による血管新生療法	1人
超音波骨折治療法	0人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	17人
腹腔鏡補助下膵体尾部切除又は核出術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	0人
骨腫瘍のCTガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	0人
パクリタキセル静脈内投与(1週間に1回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(3週間に1回投与するものに限る)の併用療法	0人
蛍光膀胱鏡を用いた5-アミノレブリン酸溶解液の経口投与又は経尿道投与による膀胱がんの光力学的診断	26人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療 該当なし

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ペーチェット病	34人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	56人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	72人	・原発性胆汁性肝硬変	79人
・全身性エリテマトーデス	226人	・重症急性膵炎	14人
・スモン	12人	・特発性大腿骨頭壊死症	78人
・再生不良性貧血	42人	・混合性結合組織病	28人
・サルコイドーシス	73人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・特発性間質性肺炎	17人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	194人	・網膜色素変性症	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	59人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	52人	・肺動脈性肺高血圧症	15人
・潰瘍性大腸炎	206人	・神経線維腫症	20人
・大動脈炎症候群	24人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	46人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	26人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	78人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	64人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	17人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	310人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	14人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	55人	・肥大型心筋症	10人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	46人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	5人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	94人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	47人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	84人

1,897人

422人

2,319人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・眼底三次元画像解析	・
・超音波骨折治療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

○「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね週1回
部 検 の 状 況	部検症例数 38例 / 部検率 6.70%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マイクロRNAを標的とした新たな口腔癌の化学予防法の開発	山本一彦	口腔外科	780,000	補委 日本学術振興会
関節滑膜細胞におよぼす伸展ストレスの影響；酸化ストレスと遺伝子発現の誘導	川上哲司	口腔外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
顔面骨格の形態パターンニングを制御する分子機構	川上正良	口腔外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
フッ化ピリミジン系抗がん剤による味覚障害の発生機序解明と治療法の開発	青木久美子	口腔外科	910,000	補委 日本学術振興会
口腔がんにおけるmicroRNAの抗がん剤抵抗性への関与の検討	山川延宏	口腔外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
Trksを標的とした口腔癌の抗血管新生・リンパ管新生療法の試み	上田順宏	口腔外科	2,860,000	補委 日本学術振興会
早期荷重インプラントにおけるオッセオインテグレーション獲得のための微小動揺の閾値	村上和宏	口腔外科	3,640,000	補委 日本学術振興会
口腔がんに対するMICA遺伝子に関連した新規ペプチドワクチンの同定	玉置盛浩	口腔外科	2,730,000	補委 日本学術振興会
3次元画像による顎顔面領域外科手術シミュレート技術の開発	今井裕一郎	口腔外科	1,700,000	補委 科学技術振興機構
ADAMTS13の血液流動下における活性発現と抗炎症作用	西尾健治	総合医療学	1,170,000	補委 科研費(基盤研究C)
全血液流動下における血栓形成と炎症の連鎖に関わる分子機構解明	福島英賢	救急医学	1,040,000	補委 科研費(若手研究B)
通報内容における院外心肺停止のキーワードに沿った胸骨圧迫の口頭指導のありかたに関する研究	福島英賢	救急医学	1,000,000	補委 救急振興財団
精神障害者に対する包括的禁煙対策の確立	岸本年史	精神科	5,700,000	補委 厚生労働省
自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	岸本年史	精神科	500,000	補委 厚生労働省
精神疾患患者に対する早期介入とその普及啓発に関する研究	岸本年史	精神科	1,050,000	補委 厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	岸本年史	精神科	500,000	補委 厚生労働省
21指127 注意欠如・多動性障害-ADHD-の客観的指標に基づく診断・治療指針の作成に関する研究	飯田順三	精神科	500,000	補委 (独)国立国際医療センター
児童青年精神科領域における診断・治療の標準化に関する研究(H22-精神一般-004)	飯田順三	精神科	600,000	補委 厚生労働省

小計
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
統合失調症患者におけるニューレグリン1機能の多角的解析	岸本年史	精神科	650,000	補委 日本学術振興会
統合失調症モデルラットにおけるフォスファチジルイノシトール系の関与について	法山良信	精神科	520,000	補委 日本学術振興会
未分化増殖細胞が摂食行動と体重に与える影響の解析	井上雄一朗	精神科	650,000	補委 日本学術振興会
ADHDにおける近赤外線スペクトロスコピーによる薬物療法の客観的評価の研究	太田豊作	精神科	100,000	補委 日本学術振興会
主観的認知障害(SCI)を対象としたアルツハイマー病の早期診断に関する研究	木内邦明	精神科	650,000	補委 日本学術振興会
統合失調症モデルとしてのオリゴデンドロサイト障害マウスの検討	山内崇平	精神科	1,820,000	補委 日本学術振興会
人工多能性幹細胞(iPS細胞)を用いた培養系精神疾患モデルの確立	鳥塚通弘	精神科	2,990,000	補委 日本学術振興会
平成23年度奈良県自殺対策にかかわる高度人材育成事業	岸本年史	精神科	6,805,000	補委 奈良県
ヒト疾患特異的的人工多能性幹細胞を用いた化学物質リスク評価系の確立	深見伸一	精神科	1,000,000	補委 住友財団
iPS細胞を用いた培養系精神疾患モデルの確立	鳥塚通弘	精神科	2,000,000	補委 阪本精神病理学研究所
統合失調症患者由来人工多能性幹細胞の作成とNeuregulin1反応性の解析	岸本年史	精神科	1,000,000	補委 公益財団法人先進医薬研究振興財団
鉄の酸化ストレスによる子宮内膜症のがん化機序の解明とモデル動物の樹立	小林浩	産婦人科	1,144,000	補委 日本学術振興会
羊水塞栓症の致死的原因における胎便の役割を解明する	大井豪一	産婦人科	2,860,000	補委 日本学術振興会
大豆蛋白を用いた早産予防薬の開発	佐道俊幸	産婦人科	800,000	補委 日本学術振興会
発現タンパクの機能制御に基づいた婦人科がんの分子標的治療戦略	古川直人	産婦人科	2,730,000	補委 日本学術振興会
酸化ストレスをターゲットにした卵巣明細胞腺癌の治療戦略	吉田昭三	産婦人科	700,000	補委 日本学術振興会
プロテオーム解析による子宮内膜症からの卵巣癌発生機序の解明	川口龍二	産婦人科	900,000	補委 日本学術振興会
樹状細胞と養子免疫を用いたマウス脳腫瘍モデルに対する治療	西村文彦	脳神経外科	1,308,000	補委 日本学術振興会
伊賀・奥宇陀地域脳神経疾患医療体制整備に関する調査事業	中瀬裕之	脳神経外科	12,000,000	補委 名張市

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
治験実施に関する研究[5-アミノレブリン酸]	平尾佳彦	泌尿器科	1,000,000	補委 日本医師会
デジタルカラーイコライザーを用いた蛍光膀胱鏡診断精度の向上に関する研究	藤本清秀	泌尿器科	500,000	補委 内視鏡医学研究振興財団
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動「前立腺癌の予防介入研究」	藤本清秀	泌尿器科	1,090,000	補委 文部科学省
光学的診断を用いた尿中剥離腫瘍細胞の遺伝子変異解析システムの開発	藤本清秀	泌尿器科	260,000	補委 文部科学省
新規ガンマラクトン化合物とサイトカインにより誘導される腎固有の修復機構の解明	石橋道男	泌尿器科	650,000	補委 文部科学省
睡眠障害は夜間頻尿の原因になるか?:簡易脳波睡眠診断を用いた検討	平尾佳彦	泌尿器科	2,080,000	補委 文部科学省
光学診断を用いた尿中前立腺癌細胞の検出	穴井智	泌尿器科	650,000	補委 文部科学省
SERCA2a遺伝子が排尿機能に及ぼす影響	鳥本一匡	泌尿器科	1,040,000	補委 文部科学省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準治療の確立に関する研究	平尾佳彦	泌尿器科	500,000	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術後の治療方針の確立に関する研究	平尾佳彦	泌尿器科	150,000	補委 厚生労働省
浸潤性膀胱移行上皮がんに対する術前MVAC化学療法による予後改善の意義に関する第Ⅲ相試験	平尾佳彦	泌尿器科	150,001	補委 厚生労働省
早期前立腺がん根治術後の再発に対する放射線照射と内分泌療法に関するランダム化比較試験	平尾佳彦	泌尿器科	500,000	補委 厚生労働省
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびそのあり方に関する研究	平尾佳彦	泌尿器科	300,000	補委 厚生労働省
光学診断とマイクロ流路を用いた小型高速癌細胞診断装置の開発	平尾佳彦	泌尿器科	16,764,000	補委 近畿経済産業局
5-アミノレブリン酸が誘導する光学的反応を用いた尿中剥離腫瘍細胞検出装置の開発	藤本清秀	泌尿器科	300,000	補委 奈良県対がん協会がん
多発性嚢胞腎ラットの腎嚢胞化進展過程にみられるEカドヘリン発現抑制に関するエピジェネティック修飾の研究	千原良友	泌尿器科	500,000	補委 大阪腎臓バンク
尿試験料中のがん細胞検出に関する試行的研究	平尾佳彦	泌尿器科	250,000	補委 産業技術総合研究所
OABに対する免疫学的研究	平山暁秀	泌尿器科	500,000	補委 ファイザー(株)
夜間頻尿と高血圧の関連	鳥本一匡	泌尿器科	500,000	補委 ファイザー(株)

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
再生医療技術を用いた同種骨移植の再活性化に関する研究	田中 康仁	整形外科	1,170,000	補委 文部科学省
骨髄間葉系幹細胞を用いた血管柄付き自家骨置換型人工骨の開発	村田 景一	整形外科	1,040,000	補委 文部科学省
再生医療技術を応用した四肢の拘縮性偽関節の治療に関する研究	面川 庄平	整形外科	2,080,000	補委 文部科学省
ウエルナー症候群の病態把握、治療指針作成と新規治療法の開発を目的とした全国研究	田中 康仁	整形外科	500,000	補委 厚生労働省
脊髄虚血後のミクログリア活性化制御による神経保護効果に関する検討	川口 昌彦	麻酔科学	872,000	補委 日本学術振興会
全脳虚血に対するβブロッカーの脳保護に関する研究	井上 聡己	麻酔科学	545,000	補委 日本学術振興会
ラット前脳虚血モデルにおけるプロピルガレートの脳保護効果に関する研究	河野 安宣	麻酔科学	872,000	補委 日本学術振興会
非眼科的手術後の眼障害についての検討	林 浩伸	麻酔科学	763,000	補委 日本学術振興会
開頭手術における運動誘発電位モニタリングに関する検討	阿部 龍一	麻酔科学	654,000	補委 日本学術振興会
神経系腫瘍幹細胞の放射線抵抗性と分化に対する重粒子線照射の影響	長谷川正俊	放射線腫瘍医学	5,330,000	補委 日本学術振興会
モバイル端末を用いた画像誘導放射線治療時代の遠隔放射線治療支援方法の確立	玉本 哲郎	放射線腫瘍医学	780,000	補委 日本学術振興会
画像誘導放射線治療および適応放射線治療における機能画像応用の検討	浅川 勇雄	放射線腫瘍医学	650,000	補委 日本学術振興会
三次元培養心筋組織の作成：伸展刺激による細胞の配行と成熟、収縮力の増強	谷口 繁樹	胸部・心臓血管外科	910,000	補委 日本学術振興会
カルパイン阻害剤による心保存後の虚血再灌流障害予防効果に関する研究	吉川 義朗	胸部・心臓血管外科	5,330,000	補委 日本学術振興会
独創的な組織工学技術を用いた人工気管作成の試み	内藤 洋	胸部・心臓血管外科	3,510,000	補委 日本学術振興会
三次元構築を持つ組織再生を目指したコラーゲンゲル内における間葉系幹細胞の分化誘導	河合 紀和	胸部・心臓血管外科	910,000	補委 日本学術振興会
超音波聴覚のメカニズムと最重度難聴者のための超音波補聴システムの実用化研究	細井 裕司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	5,460,000	補委 日本学術振興会
最重度平衡障害に対する感覚代行治療—実用化に向けた効果メカニズムの解明—	山中 敏彰	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
頭頸部癌の浸潤・転移におけるEMTによる癌幹細胞活性化機構の解明	太田 一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,950,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
軟骨伝導を用いた新しい補聴器の開発	西村 忠己	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
視運動性眼球運動に関与する神経機構の解明-遺伝子工学的アプローチ-	清水 直樹	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,600,000	補委 日本学術振興会
骨導超音波補聴器の実用化に向けた語音聴力の検討	山下 哲範	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
時系列の聴覚表象に頑健性を与える知覚属性間の交互作用に関する心理物理的研究	松井 淑恵	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
GVHDを病態モデルとして利用したDIHSにおけるHHV-6再活性化機序の解明	浅田 秀夫	皮膚科、形成外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
薬剤によるcAMP濃度上昇、CREB活性化と皮膚および神経系細胞のDNA修復亢進	小林 信彦	皮膚科、形成外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	浅田 秀夫 (分担)	皮膚科、形成外科	2,500,000	補委 厚生労働省
帯状疱疹ワクチン開発のための疫学研究	浅田 秀夫 (分担)	皮膚科、形成外科	2,000,000	補委 厚生労働省
画期的経皮免疫製剤の開発と実用化に資する研究の総合的推進	浅田 秀夫 (分担)	皮膚科、形成外科	2,000,000	補委 医薬基盤研究所
肥厚性皮膚骨膜炎における遺伝子診断と生化学的検査を踏まえた新しい病型分類の提言と既存治療法の再評価に関する研	桑原 理充 (分担)	皮膚科、形成外科	500,000	補委 厚生労働省
臓器受容および組織再生における血管新生機構の包括的解明と新規免疫制御法の開発	中島 祥介	消化器・総合外科	2,600,000	補委 文部科学省
腫瘍幹細胞を標的とした新たなBITE抗体の開発	中島 祥介	消化器・総合外科	800,000	補委 文部科学省
組織工学を活用した神経堤幹細胞によるヒルシュスプルング病に対する新たな治療戦略	金 廣 裕 道	消化器・総合外科	600,000	補委 文部科学省
血友病根治療法としての異所性生体部分肝移植の可能性	高 濟 峯	消化器・総合外科	800,000	補委 文部科学省
消化器癌における獲得免疫機構の解明と外科との融合を目指した新規癌治療戦略の開発	庄 雅 之	消化器・総合外科	900,000	補委 文部科学省
微小重力環境を用いた多能性幹細胞の腸管神経分化誘導による新しい幹細胞移植法の開発	植 田 剛	消化器・総合外科	600,000	補委 文部科学省
モサプリドを利用した腸管再生・新生法	藤 井 久 男	中央内視鏡・超音波部	1,430,000	補委 日本学術振興会
血友病の治療とその合併症の克服に関する研究	嶋 緑 倫	小児科	22,500,000	補委 厚生労働省
後天性血友病XIII(13)の実態調査,発症機序の解明と治療方法の開発	嶋 緑 倫	小児科	400,000	補委 厚生労働省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of Physiology 589 (20): 4557-84, 2011	Postsynaptic diacylglycerol lipase α mediates retrograde endocannabinoid suppression of inhibition in mouse prefrontal cortex	芳野浩樹	精神科
J Psychiatr Res. 45(8): 1095-100, 2011	White matter changes in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease: A tractography-based study.	木内邦明	精神科
Progress in-neuropsychopharmacology & Biological Psychiatry 35:1950-1956, 2011	Olanzapine stimulates proliferation but inhibits differentiation in rat oligodendrocyte precursor cell cultures	紀本創兵	精神科
BMC Res Notes 4:378, 2011	Asymmetry, sex differences and age-related changes in the white matter in the healthy elderly: a tract-based study.	北村聡一郎	精神科
心理学研究82: 183-188, 2011	高齢者を対象としたバウムテストにおける教示の比較研究	福住昌美	精神科
Oncology Reports (2011)	Signaling pathway involved in cyclooxygenase-2 up-regulation by hepatocyte growth factor in endometrial cancer cells	Yoshizawa Y	産婦人科
Placenta (2011)	Hypoxia inhibits invasion of extravillous trophoblast cells through reduction of matrix metalloproteinase (MMP)-2 activation in the early first trimester of human pregnancy	Onogi A	産婦人科
Journal of clinical ultrasound (2011)	Evaluation of the vessels of the cardinal ligament by transrectal ultrasonography with color Doppler imaging	Furukawa N	産婦人科
Pregnancy Hypertension (2011)	Increase of high molecular weight adiponectin in hypertensive pregnancy was correlated with brain-type natriuretic peptide stimulation on adipocyte	Naruse K	産婦人科
Eur J Cancer Care (2011)	Use of high-dose cisplatin with aprepitant in an outpatient setting.	Furukawa N	産婦人科
Open Womens Health J (2011)	Search for Amniotic Fluid-Specific Markers: Novel Biomarker Candidates for Amniotic Fluid Embolism	Kobayashi H	産婦人科
日本エンドメトリオーシス学会会誌 (2011)	卵巣チョコレート嚢胞に合併する明細胞腺癌と類内膜腺癌の発生病理と、その遺伝子特性	重富洋志	産婦人科
奈良県医師会医学会年報	平成22年度奈良県医師会学術奨励賞受賞研究 ヒト妊娠初期の着床機構における子宮NK細胞制御下のプロテアーゼ系の関与	成瀬勝彦	産婦人科
日本婦人科腫瘍学会雑誌	頸部腺癌CCRT 主治療として放射線治療を行った子宮頸部腺癌症例の臨床的検討	吉田昭三	産婦人科
産婦の進歩(近畿産科婦人科学会雑誌) (2011)	放射性治療を主治療として行った子宮頸部腺癌症例の検討	山田有紀	産婦人科
産婦の進歩(近畿産科婦人科学会雑誌) (2011)	腹腔鏡併用下に切除した恥骨上子宮内膜症の1例	森岡佐知子	産婦人科
産婦の進歩(近畿産科婦人科学会雑誌) (2011)	羊水塞栓症診断における血清マーカー-Sialyl Tn とZinc coproporphyrinI の有用性に関して	岩井加奈	産婦人科
Tissue Eng Part A. (2011年)	Osteogenic potential of mesenchymal stem cells on expanded polytetrafluoroethylene coated with both a poly-amino-Acid urethane copolymer and collagen.	Yagyū T	口腔外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Cranio-Maxillo-Facial Surgery(2011年)	Maxillofacial fractures due to work-related accidents	Yamamoto K	口腔外科
頭頸部癌(2011年)	根治的治療を行った進行口腔癌症例の治療成績と長期経過観察の必要性	山川延宏	口腔外科
J Oral Maxillofac Surg(2011年)	Biomechanical Analysis of the Strength of the Mandible After Marginal Resection	Murakami K	口腔外科
J Oral Maxillofac Surg(2011年)	Impalement Injuries of the Oral Cavity in Children	Matsusue Y	口腔外科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod(2011年)	Association of candy weight loss rate and whole saliva flow rates	Yamamoto K	口腔外科
Dental Traumatology(2011年)	A mandibular body fracture related to mouth-opening training in a dialysis patient	Yamamoto K.	口腔外科
Neurochemistry International(2011年)	Environmental stimulation changes tissue-type plasminogen activator activity in the adult mouse hippocampus	Matsusue Y.	口腔外科
The Open Dentistry Journal(2011年)	A Dilated Odontoma in the Second Molar Region of the Mandible	Matsusue Y.	口腔外科
奈良医学雑誌(2011年)	Multi-color/target fluorescence in situ hybridization (Mt-FISH) 法及び免疫染色 (ICC) 法を用いた腹腔細胞診の検討	柳生貴裕	口腔外科
J Oral Maxillofac Surg(2011年)	Nationwide Survey for Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of the Jaws in Japan	Kirita T	口腔外科
臨床バイオメカニクス(2011年)	歯科インプラントの周囲骨の応力分布に荷重開始時期および骨質が及ぼす影響	杉浦勉	口腔外科
Cancer Sci.(2011年)	Downregulation of runt-related transcription factor 3 (RUNX3) associated with poor prognosis of adenoid cystic and mucoepidermoid carcinomas of the salivary gland.	Kurihara M	口腔外科
Radiotherapy and Oncology(2011年)	Multicenter phase II study of an opioid-based pain control program for head and neck cancer patients receiving chemoradiotherapy	Kirita T	口腔外科
頭頸部癌(2011年)	化学放射線療法を行う頭頸部がん患者を対象とするクリニカルパスを用いた疼痛管理法 有効性/安全性評価試験	桐田忠昭	口腔外科
J Oral Maxillofac Surg(2011年)	Maxillofacial fractures sustained in bicycle accident.	Yamamoto K.	口腔外科
Oncol Rev(2011年)	The roles of HMGB1 related angiogenesis and lymphangiogenesis in oral cancer.	Sasahira T	口腔外科
中部日本整形外科学会雑誌 55巻秋季学会 2011	下位頸椎損傷にC7椎弓スクリューを使用して後方固定術を施行した1症例	松森 裕昭	救急医学
日本救急医学会雑誌 22(9)巻 2011	敗血症性DIC症例に対する遺伝子組み換えトロンボモデュリンの凝固・炎症反応への影響	矢田 憲孝	救急医学
セラピューティックリサーチ(2011年)	肺アスペルギルスを合併した難治性肺非結核性抗酸菌症の3例	小川 拓	感染症センター

小計 累計

19 37

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Infection and Chemotherapy (2011年)	Chapter2-1.Anaerobic infections (individual fields):respiratory infections	K Mikasa	感染症センター
感染症学雑誌 (2011年)	HIV感染者の骨血管相関に関する検討	古西 満	感染症センター
日本エイズ学会誌 (2011年)	抗HIV治療が酸化ストレス/抗酸化力に与える影響	古西 満	感染症センター
J Infect Chemother (2011年)	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the Japanese Society of Chemotherapy in 2008:general view of the pathogens antibacterial susceptibility	K Mikasa	感染症センター
J Infect Chemother (2011)	Nocardia beijingensis pulmonary infection successfully treated with intravenous beta-lactam antibiotics and oral minocycline	Taku Ogawa	感染症センター
日本化学療法学会雑誌 (2012)	呼吸器感染症における新規抗微生物薬の臨床評価法 (最終報告)	三笠 桂一	感染症センター
J Infect Chemother (2012)	Nationwide, multicenter survey on the efficacy and safety of piperacillin for adult community-acquired pneumonia in Japan	Keiichi Mikasa	感染症センター
日本臨床微生物学雑誌 (2012)	日本の病院における血液培養採取状況および陽性率の実態調査-パイロットスタディー	宇野 健司	感染症センター
Japanese Journal of Ophthalmology (2011年)	Human herpesvirus 6-associated uveitis with optic neuritis diagnosed by multiplex PCR.	Nahoko Ogata	眼 科
Journal of Cataract & Refractive Surgery (2011年)	Characteristics of spherical aberrations in 3 aspheric intraocular lens models measured in a model eye.	Futoshi Taketani	眼 科
臨床眼科 (2011年)	奈良県立医科大学付属病院における未熟児網膜症の統計学的検討	西 智	眼 科
Neuroscience (2011年)	The effect of a gap-junction blocker, carbenoxolone, on ischemic brain injury and cortical spreading depression	Tamura K.	脳神経外科
Neurosurgery (2011年)	Neuroprotection with intraventricular brain-derived neurotrophic factor in rat venous occlusion model	Takeshima Y.	脳神経外科
J Cereb Blood Flow Metab (2011年)	Cilostazol minimizes venous ischemic injury in diabetic and normal rats	Wajima D.	脳神経外科
小児の脳神経 (2011年)	NICUにおける水頭症管理 - P I カテーテルによる脳室ドレナージの有用性 -	朴永鉄	脳神経外科
Geriatric Neurosurgery (2011年)	高齢頸椎症性脊髄症例の手術治療	竹島靖浩	脳神経外科
脳神経外科 (2011年)	痙攣に対するITB (intrathecal Baclofen) 療法でのbaclofen至適投与量の検討	輪島大介	脳神経外科
CI研究 (2011年)	Three-dimensional Visualization of the sylvian vein adherent to a middle cerebral artery aneurysm using contrast-enhanced computed tomography volumetric imaging with the TeraRecon Aquarius net workstation	本山靖	脳神経外科
Oncol Rep (2011年)	Heme oxygenase-1 promotes angiogenesis in urothelial carcinoma of the urinary bladder	Miyake M	泌尿器科

小計累計

19 56

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol (2011年)	The effects of androgen deprivation therapy on lipid metabolism and body composition in Japanese patients with prostate cancer	Torimoto K	泌尿器科
Urology (2011年)	Relationship between nocturnal urine volume, leg edema, and urinary antidiuretic hormone in older men	Hirayama A	泌尿器科
Br J Cancer (2011年)	Prognostic factor of CD45RO+ memory T cells in renal cell carcinoma	Hotta K	消化器外科 / 泌尿器科
Int J Clin Oncol (2011年)	Risk-stratified survival rates and predictors of biochemical recurrence after radical prostatectomy in a Nara, Japan, cohort study	Tanaka N	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol (2011年)	Bone Scan Can Be Spared in Asymptomatic Prostate Cancer Patients with PSA of <=20 ng/ml and Gleason Score of <=6 at the Initial Stage of Diagnosis	Tanaka N	泌尿器科
BMC Urol (2011年)	Clinical significance of subepithelial growth patterns in non-muscle invasive bladder cancer	Miyake M	泌尿器科
BMC Urol (2011年)	The primary therapy chosen for patients with localized prostate cancer between the university hospital and its affiliated hospitals in Nara Uro-Oncological Research Group Registration	Tanaka N	泌尿器科
BMC Urol (2011年)	Cyclooxygenase 2-dependent and independent activation of Akt through casein kinase 2 α contributes to human bladder cancer cell survival	Shimada K	病理病態学/ 泌尿器科学
BMC Urol (2011年)	ROS generation via NOX4 and its utility in the cytological diagnosis of urothelial carcinoma of the urinary bladder	Shimada K	病理病態学 / 泌尿器科学
泌尿器外科 (2011年)	放射線抵抗性前立腺癌に対する分子標的治療の試み	穴井 智	泌尿器科
腎移植・血管外科 (2011年)	当科における新規腎移植症例に対するグラセプターRの使用経験	米田龍生	泌尿器科
腎移植・血管外科 (2011年)	上腕動脈随伴静脈を用いたvascular access作成の経験	森澤洋介	泌尿器科
Oncol Lett (2012年)	5-fluorouracil enhances the antitumor effect of sorafenib and sumitinib in a xenograft model of human renal cell carcinoma	Miyake M	泌尿器科
Advances in Urology (2012年)	Calculated tumor volume is an independent predictor of biochemical recurrence in patients who underwent retropubic radical prostatectomy	Tanaka N	泌尿器科
Urology (2012年)	Risk factors for new-onset overactive bladder in older subjects: results of the Fujiwara-Kyo study	Hirayama A	泌尿器科
Masui 2012	Usefulness and problems of pre- and post-operative anesthesia evaluation clinic	Y Naitou	麻酔科
Rev Bras Anesthesiol. 2011	Cephalad angulation of epidural needle insertion may be an important factor for safe epidural space approach: a mathematical model.	S Inoue	麻酔科
J Anesth. 2011	Amino acid infusions started after development of intraoperative core hypothermia do not affect rewarming but reduce the incidence of postoperative shivering during major abdominal surgery: a randomized trial	S Inoue	麻酔科
Spine 2012	Comparison of computed tomography myelography and radioisotope cisternography to detect cerebrospinal fluid leakage in spontaneous intracranial hypotension	橋爪圭司, 他	ペインセンター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anaesth Intensive Care 2011	Successful spinal administration is related to the angle formed between the skin and a spinal needle. A geometric model.	S Inoue	麻酔科
Resuscitation 2012	Effects of n-propyl gallate on neuronal survival after forebrain ischemia in rats.	Y Kawano	集中治療部
J Anesth. 2011	Validation of the Japanese version of the quality of recovery score QoR-40.	Y Tanaka	中央手術部
J Anesth. 2011	Fluoroscopically guided epidural blood patch in patients with postdural puncture headache after spinal and epidural anesthesia	M Kawaguchi, 他	麻酔科
J Neurosurg. 2011	Fluoroscopically guided epidural blood patch with subsequent spinal CT scans in the treatment of spontaneous cerebrospinal fluid hypovolemia	K Watanabe, 他	ペインセンター
Spine 2011	Effects of minocycline on hind-limb motor function and gray and white matter injury after spinal cord ischemia in rats	M Kawaguchi	麻酔科
Anesthesiology 2011	Volatile anesthetics protect cancer cells against tumor necrosis factor-related apoptosis-inducing ligand-induced apoptosis via caveolins.	Y Kawaraguchi	麻酔科
J Am Coll Cardiol. 2011	Cardiac-specific overexpression of caveolin-3 attenuates cardiac hypertrophy and increases natriuretic peptide expression and signaling.	Kawaraguchi Y	麻酔科
J Radiat Res (2012年)	Changes of Tumor Size and Tumor Contrast Enhancement during Radiotherapy for Non-small-cell Lung Cancer May Be Suggestive of Treatment Response.	Okada H	放射線治療・核医学科
Tissue Engineering Part A (2011年)	The Effect of Mesenchymal Stem Cell Osteoblastic Differentiation on the Mechanical Properties of Engineered Bone-like Tissue	Hiroshi Naito	胸部・心臓血管外科
Int J. Hyperthermia (2011年)	siRNA targeted for NBS1 enhances heat sensitivity in human anaplastic thyroid carcinoma cells	N Okamoto	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Auris Nasus Larynx (2012年)	Hearing aids reduce overestimation in pre-fitting self-assessment	T Nishimura	耳鼻咽喉・頭頸部外科
行動科学 (2012年)	骨導超音波補聴器を用いた最重度難聴者リハビリテーションの事例研究	下倉良太	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Biochem Bioph Res Co (2011)	Repair pathways independent of the Fanconi anemia nuclear core complex play a predominant role in mitigating formaldehyde-induced DNA damage	Noda T, et al	皮膚科、形成外科
Photochem Photobiol (2011)	Nucleotide Excision Repair Proteins Rapidly Accumulate but Fail to Persist in Human XP-E (DDB2 Mutant) Cells	Oh KS, Imoto K, et al	皮膚科、形成外科
Biol Pharm Bull (2011)	Compositional optimization and safety assessment of a hydrogel patch as a transcutaneous immunization device	Matsuo K, et al	皮膚科、形成外科
Vaccine (2012)	Clinical study of transcutaneous vaccination using a hydrogel patch for tetanus and diphtheria	Hirobe S, et al	皮膚科、形成外科
日本大腸肛門病肛門病学 会雑誌	メッシュによるストーマ旁ヘルニア修復術—ストーマ旁ヘルニア修復術本邦報告39例の検討	錦織直人	消化器・総合外科
Hepato- Gastroenterology	Prognostic Significance of Splenic Hilar Nodal Involvement in Proximal Third Gastric Carcinoma	T. Takayama	消化器・総合外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diseases of the Esophagus	A comparison of surgery and radiation therapy for cT1 esophageal squamous cell carcinoma	S. Matsumoto	消化器・総合外科
British Journal of Cancer	Prognostic significance of CD45RO+ memory T cells in renal cell carcinoma	K. Hotta	消化器・総合外科
Clinical and Experimental Immunology	Prognostic importance of tumour-infiltrating memory T cells in oesophageal squamous cell carcinoma	K. Enomoto	消化器・総合外科
J Gastrointest Surg	Risk Factors for Surgical Site Infections After Elective Gastrectomy	K. Migita	消化器・総合外科
Vascular and Interventional Radiology・Original Research	Unresectable Pancreatic Cancer: Arterial Embolization to Achieve a Single Blood Supply for Intraarterial Infusion of 5-Fluorouracil and Full-Dose IV Gemcitabine	T. Tanaka	消化器・総合外科
J Med Ultrasonics (2011年)	Secondary aortoduodenal fistula identified by ultrasonography	Tsujimoto T	中央内視鏡・超音波部
Endoscopy (2011年)	Endoscopic resection of an anal gland cyst	内本和晃	中央内視鏡・超音波部
Nihon Jinzo Gakkai Shi	Shear stress-induced platelet aggregation in children with minimal change nephrotic syndrome	Takahashi Y et al.	総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門
日本未熟児新生児学会雑誌	青色発光ダイオードと緑色蛍光管の光源の違いによる光療法の臨床効果—放射照度の比較も加えて—	内田優美子 et al.	総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門
Chest(2011年)	Differences in Breathing Patterning during Wakefulness in Patients with Mixed-Apnea Dominant vs. Obstructive-Dominant Sleep Apnea	H Kimura	呼吸器血液内科
Br J Cancer. (2011年)	ALKBH3, a human AlkB homologue, contributes to cell survival in human non-small-cell lung cancer	H Kimura	呼吸器血液内科
Life Sci. (2012年)	Attenuation of glucose-induced insulin secretion by intermittent hypoxia via down-regulation of G038	H Kimura	呼吸器血液内科
J Toxicol Sci. (2011年)	Cigarette smoke decreases organic acids levels and population of bifidobacterium in the caecum of rats	H Kimura	呼吸器血液内科
J Toxicol Sci. (2012年)	Changes of Tumor Size and Tumor Contrast Enhancement during Radiotherapy for Non-small-cell Lung Cancer May Be Suggestive of Treatment Response	H Kimura	呼吸器血液内科
PlosS One. (2012年)	Ghrelin treatment of cachectic patients with chronic obstructive pulmonary disease: a multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	H Kimura	呼吸器血液内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
			小計
			0
			計
			109

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 古 家 仁
管理担当者氏名	経営企画部次長 倉西 政勝、 医療サービス課長 福井 正人、 病院管理課長 峠 春樹

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		外来カルテ庫 入院カルテ庫 薬剤部 中央放射線部 電子カルテ	個々の患者の諸記録は、カルテとともに整理し一括保管。 エックス線写真は、中央放射線部で一括保管。 諸記録、エックス線写真とも、あわせて電子カルテにも保存。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各種名簿、データによる管理	
	高度の医療の実績	医療サービス課 医療相談室、各診療部	各種データ (又は簿冊) による管理	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療部	各種データ (又は簿冊) による管理	
	高度の医療の研修の実績	総務課 各診療部	各種データ (又は簿冊) による管理	
	閲覧実績	実績無し		
	紹介患者に対する医療提供の実績	経営企画課 地域医療連携室	各種データ (又は簿冊) による管理	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課 薬剤部	各種データ (又は簿冊) による管理	
	項規 第1 第1 号に 掲げ る十 一第 一制 の確 保各 号及 び第 九条 の二 十三 第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	各種データ (又は簿冊) による管理
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	各種データ (又は簿冊) による管理
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	各種データ (又は簿冊) による管理
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	各種データ (又は簿冊) による管理
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進室	各種データ (又は簿冊) による管理
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	各種データ (又は簿冊) による管理
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進室	各種データ (又は簿冊) による管理
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療相談室	各種データ (又は簿冊) による管理	

(様式第12)

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び諸記録の管理に関する	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理室	各種名簿、データによる管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理室	各種データ（又は簿冊）による管理
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室	各種データ（又は簿冊）による管理
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室	各種データ（又は簿冊）による管理
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	各種データ（又は簿冊）による管理
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	各種データ（又は簿冊）による管理
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	各種データ（又は簿冊）による管理
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	各種データ（又は簿冊）による管理
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	中央放射線部	各種データ（又は簿冊）による管理
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	中央放射線部	各種データ（又は簿冊）による管理
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	中央放射線部	各種データ（又は簿冊）による管理
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	中央放射線部	各種データ（又は簿冊）による管理		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 古 家 仁
閲覧担当者氏名	医療サービス課長 福井 正人 病院管理課長 峠 春樹
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課、病院管理課 執務室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 0件	
閲覧者別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.5 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算 出 根 拠	A: 紹介患者の数	17,617 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,108 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,488 人	
	D: 初診の患者の数	26,407 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理体制のうち、医療事故調査委員会 庶務担当を「医療サービス課 医療相談室」とし、医療安全管理委員に「医療サービス課医療相談室長」を追加した。 医療安全管理体制のうち、医療安全推進室に「呼吸サポートチーム」を追加した。 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： <p>安全管理に関する重要案件の審議を行い、医療安全管理のための基本方針を策定する。</p> 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：平成23年度 <p>新規採用者研修 MR管理室での安全管理 緊急時の対応(BLS・災害訓練等) 院内感染防止セミナー(症例から見た結核対策) ハイリスク薬と知っておきたい薬の用法 患者誤認防止集中セミナー ABO型不適合輸血 医療ガスの安全管理 院内感染防止セミナー(冬期ウイルス性疾患と感染対策) ダブルチェック 抗がん剤の取り扱い DVD研修(事故を防ぐコミュニケーション)</p> 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関内における事故報告等の整備 (○有) ・ 無) その他の改善のための方策の主な内容： <p>報告制度を当然の業務として全職員に認識させ、各所属に対し報告内容及び結果がフィードバックしやすいシステムの構築を目指す。</p> 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	○有 (4 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有 (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	○有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 所属職員： 専任(4)名 兼任(2)名 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全に係る活動の調整、記録物等の作成保管、医療安全管理委員会への報告等。 医療事故及びインシデントに関する診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導。 医療事故等の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導。 医療事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導。 医療安全に係る情報提供及び連絡調整。 患者等や職員からの医療・診察の安全に関する相談及び連絡調整。 呼吸サポートチームの活動の調整、記録物等の保管、医療安全管理委員会への報告等。 その他医療安全対策の推進に関する活動。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	○有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院としての院内感染に対する考え方、院内感染防止委員会の設立とその目的・方針、職員や患者に対する取り組みなどを記載。 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院としての院内感染対策の立案・教育・啓発活動を決定し実行。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員に感染対策として周知・徹底したい知識や方法をテーマとして取り上げ講習会を開催。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 各診療科や病棟に院内感染対策実務職員を指定し、院内感染発生時の連絡役や感染における対策等を各所属に伝える窓口として配置。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>ハイリスク薬と知っておきたい薬の用法 (H23. 7. 25) 抗がん剤の取り扱いについて (H24. 2. 23)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (○有) ・ 無)</p> <p>・ 業務の主な内容(医薬品安全管理責任者)：</p> <p>医療安全管理委員会にメンバーとして毎月出席。研修会や必要に応じて手順書の改定を実施。手順書の遵守確認をリスクマネージャーに依頼、チェック票を回収。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>製薬会社・インターネット等により収集し、電子カルテにより情報を周知に努めている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「医療ガスの安全管理」 (H23. 11. 24 178名)</p> <p>「MR検査室での安全管理」 (H23. 5. 25 238名)</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (○有) ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>人工心肺装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器</p> <p>診療用高エネルギー装置、診療用放射線照射装置</p> <p>麻酔器、電気メス、レーザー</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器に関する情報についてはPMDA医薬品医療機器総合機構HPより医療機器に関する情報を入手し、医療安全推進室より情報発信している。また、メーカーより直接医療機器安全責任者宛に送付される情報も同様の方法で該当診療科に発信している。H24年度より電子カルテのHPより発信を計画中。</p>	